

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

だましたヤコブ



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: M. Maillot; Lazarus; Alastair P.

かいさくしゃ

改作者: M. Kerr; Sarah S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2021 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。





かみ

神さまは、もうみなさんのおうちに、かわい

あか

い赤ちゃんをとどけてくださいましたか？

それって、ほんとうにうれしいですね。

きっとイサクとリベカは、みんなの

にほい

二倍もうれしかったにちがいあり

かみ

ません。どうしてって、神さま

ふたり ふたご

は、二人に双子をくださったの
ですからね。



ふたご あか

双子の赤ちゃんは、リベカの

なか

おなかの中で大あばれ。

いの

リベカがお祈りしていると、

かみ

い

神さまが、こう言われました。

ふたり おとこ こ

「リベカ、二人の男の子は、

くに

二つの国をつくるだろう。

おとうと ほう

そして弟の方が、

あに

たいせつ

兄よりもっと大切にされ

るようになるだろう。」でも、

あに

ふつうは、たいてい兄のほうが、

たいせつ

大切にされたのですけれどね。さあ、

あか

う

ついに赤ちゃんたちが、生まれましたよ。



ふたご に
どういうわけか、その**双子**たちは、あまり似ていませんでした。

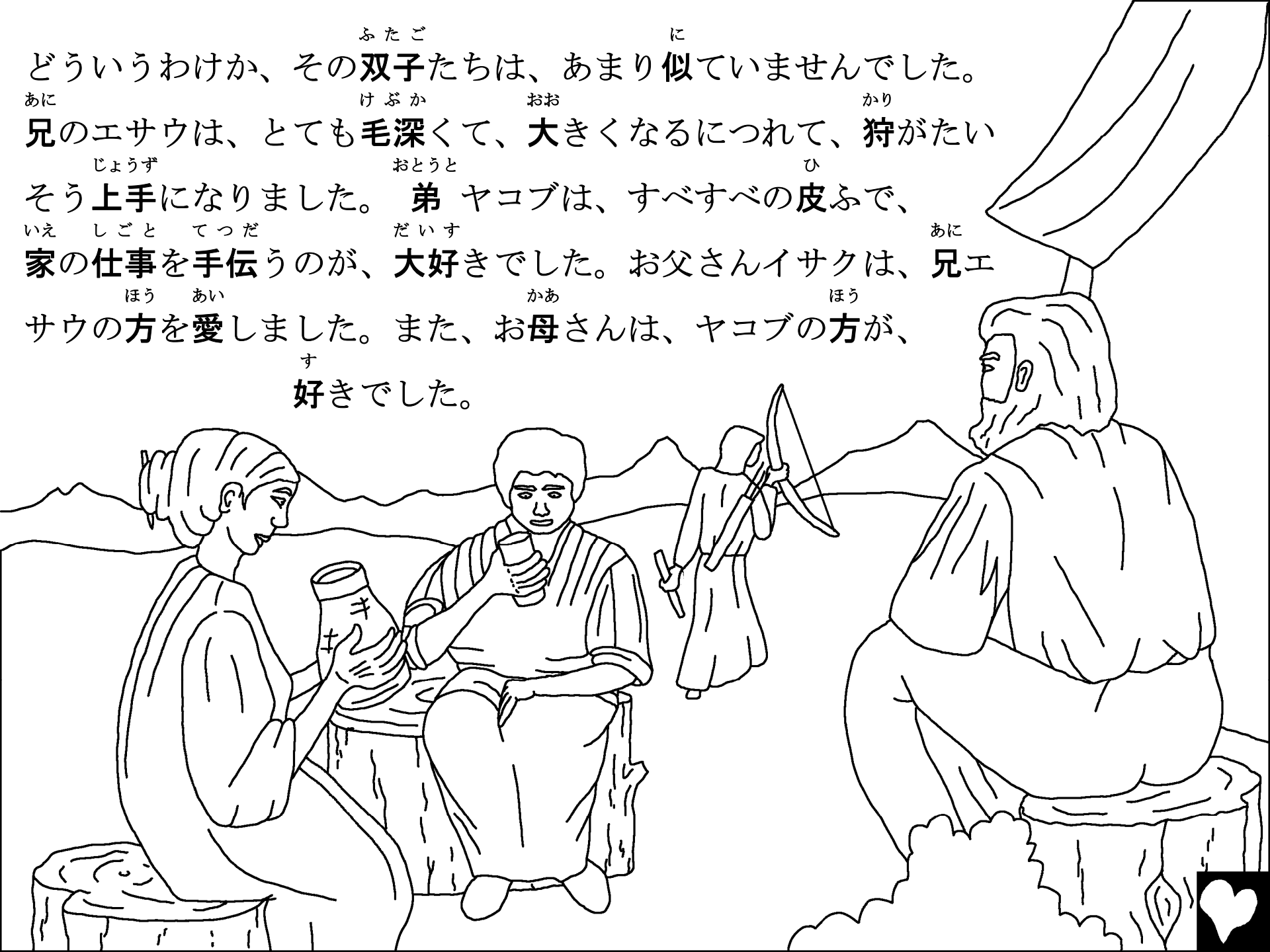
あに けぶか おお かり
兄のエサウは、とても**毛深**くて、**大**きくなるにつれて、**狩**がたい

じょうず おとうと ひ
そう**上手**になりました。 **弟** ヤコブは、すべすべの**皮**ふで、

いえ しごと てっだ だいす あに
家の**仕事**を**手**伝うのが、**大**好きでした。お父さんイサクは、**兄**エ

ほう あい かあ ほう
サウの**方**を**愛**しました。また、お**母**さんは、ヤコブの**方**が、

す
好きでした。



ある日のこと、エサウは、おなかがすいてたまりませんでした。「何か、**食**べるものをくれないか？」エサウは、ヤコブに**言**いました。「それじゃ**兄**さん、**私**

に長男のけんりをくださいよ。」ヤコブ

は、つよく**言**いました。そのときエサウ

は、**長男**にくださっ

た**神**さまのやくそくなど、**気**にもしませんでした。「いいよ、そうしよう。」エサウは、

ヤコブにそう**言**ってし

の**です**。こうなると、**二人**のお父さん

が**亡**くなった**時**には、ヤコブがかぞく

の**長**となるのでしょ**う**ね。



ある夜、神さまはイサクに話しかけられました。「イサク、私 はあなたの父アブラハムの神である。私は、いつもあなたといっしょにしよう！そして、あなたのしそん

をずっと祝福しつづけよう！」イサクは、いつも神さまのことを思

い、賛美していました。でもね、イサクの息子エサウが結婚した

二人のヘト人のおよめさんたちは、神さまのことなど、どうでも

よいと思って

いる人たちでした。





とし
イサクは、だんだん年をとってきました。「どう
わたし にく た
か、私にしんせんな肉を、食べさせておくれ。」イサ
い わたし
クはエサウに言いました。「そのあとで、私はおまえ
しゅくふく しゅくふく とう
を祝福しよう。」このとくべつな祝福は、お父さん
ちやうなん おく おおいそ
から長男に送られるものでした。さあ、エサウは大急
かり
ぎ。さっそく狩にでかけました。ところが、リベカ
き
は、これを聞いてしまったのでした。リベカは、ヤコ
しゅくふく おも
ブが祝福をうけてほしいと思って
いました。





ひと けいかく
リベカは、一つの**計画**を思いつ
いそ
きましたよ。リベカは**急**いでイ
だいす りょうり つく
サクの**大好き**な**料理**を作りました。
そのあいだにヤコブはエサ
ふく き けぶか
ウの**服**を着て、**毛**深いどうぶつ
かわ くび て
の**皮**をかれの**首**や**手**に、まきつ
め
けました。イサクは、**目**がよく
み
見えません。これで、たぶんリ
ベカとヤコブは、イサクをだま
せるでしょうね。



りょうり

ヤコブは、料理をイサクの
ころへはこびましたよ。「おまえは、
ヤコブのようだね。」イサクは、
こう言^いってから、「あれっ、
でもおまえの手^ては毛^げぶかくて、
まるでエサウのようだ。」と言^いいました。

しょくじ

食^{しょく}事^じがおわってから、イサクは、

じぶん まえ

自^じ分^{ぶん}の前^{まえ}でひざまずいてい
るむすこヤコブを

しゅくふく

祝^{しゅく}福^{ふく}しました。



で い
ヤコブがイサクのところを出て行ってからすぐ、エサウがやってきました。「お
とう た とう だいす しょくじ つく
父さん、さあ、**食**べてください。お父さんの**大**好きな**食**事を作りましたよ。」そ
こで、イサクは、ヤコブにだまされたことに

き
気がつきました。「ああ！なんていうこと

わたし しゆくふく
だ。私は、いちど祝 福したものを、
かえることはできないんだよ。」イサ

な
クは、こう泣きさげびました。エサ

こころ
ウの心は、もうヤコブへのにくし

ころ
みでいっぱいです。ヤコブを殺して
しまおうときめました。



リベカは、エサウがヤコブを殺すつもりだ**って**聞きつけました。「ヤコブ、大急
ぎでここを出て、おじさんの家**に**いくなだよ。兄さんのエサウが、あなたのした

ことを**忘**れてしまうまで、**戻**ってはいけないよ。

」と、リベカはこのように**言**いました。イサクは、

ヤコブがかれのお**母**さんの**生**まれたところに

行って、お**嫁**さんをさがせばいいと**思**い、
さんせいしてくれました。さあ、ヤコブは、

急いでうちを出て**行**きま
したよ。



よる
その夜の事です。

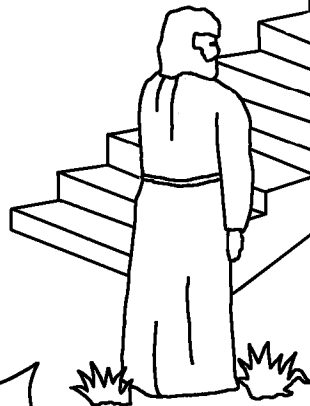
いし
ヤコブは、石をまくらにして

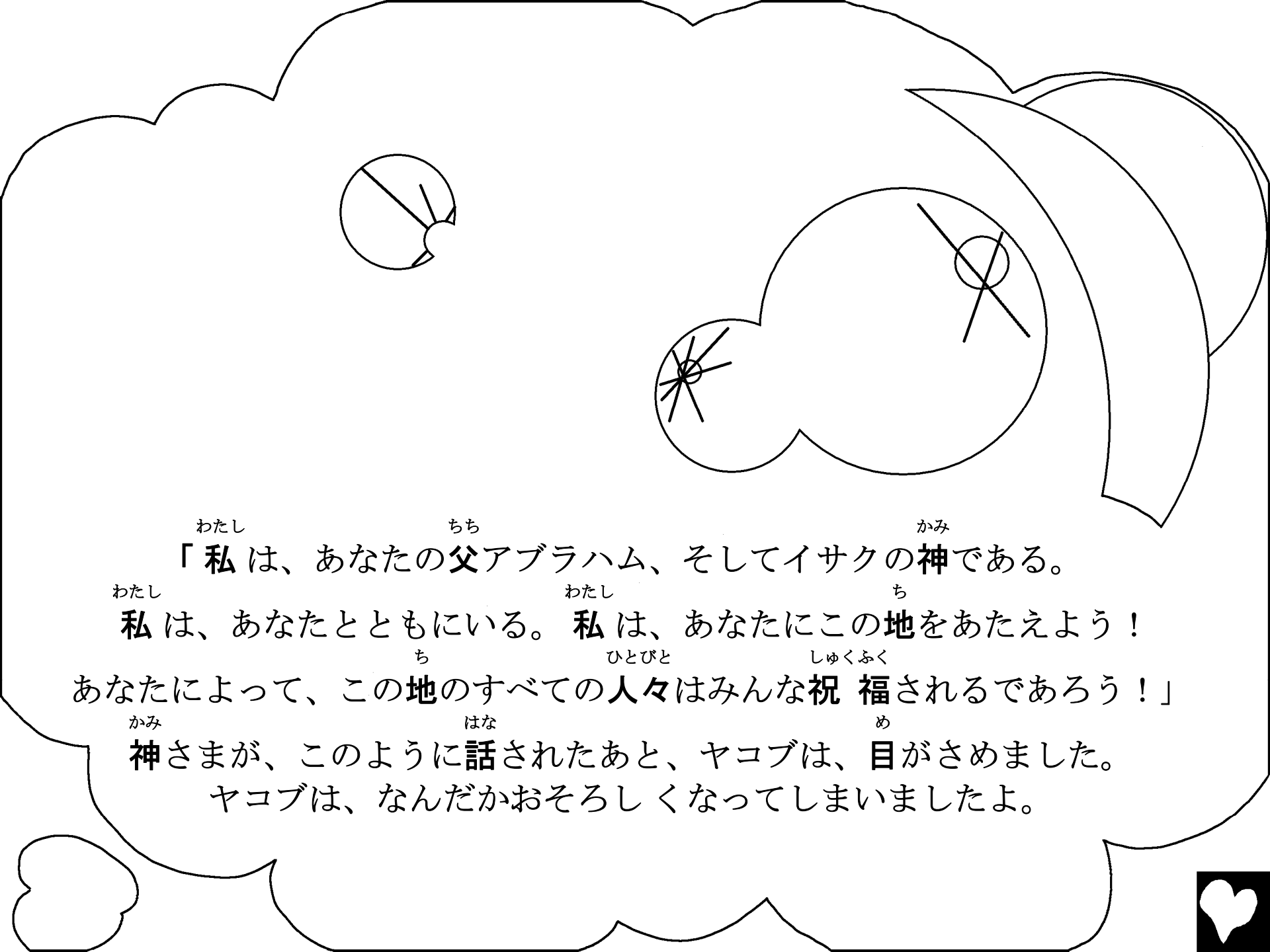
やす
休むことにしました。ヤコブは、
たぶんさびしかったですよね。
こわかったですよね。でもね、

ひとり
ヤコブは一人じゃなかったのですよ。

かみ
だって、神さまが、

なか
ゆめの中でヤコブとお話
はなし
してくださったのですから。





わたし 「**私**は、あなたのちち**父**アブラハム、そしてイサクのかみ**神**である。

わたし **私**は、あなたとともにいる。わたし **私**は、あなたにこのち**地**をあたえよう！

あなたによって、このち**地**のすべてのひとびと**人々**はみんなしゅくふく**祝福**されるであろう！」

かみ **神**さまが、このようにはな**話**されたあと、ヤコブは、め**目**がさめました。

ヤコブは、なんだかおそろしくなっていましたよ。



ヤコブのおじさんラバンは、ヤコブをよろこんでむか迎えてくれ
ましたよ。そこでヤコブは、いところラケルにであ出会い、
すぐにす好きになりました。ラケルとけっこん結婚さ
せてもらおうとおも思った、ヤコブは、かの
女のお父さんラバンのところでしちねん七年も
のあいだ、いっしょうけんめいはた

らきました。ところが、
けっこんしき 結婚式の夜、ラバンはヤコ
ブをだましたのでした。



「なんてひどい！ラケルじゃなくて、レアではありませんか。」ヤコブは、
おこってい言わたしいました。「あなたは、**私**をだましたのですね。」「いやいや、
ここではね、一ばん上いちのむすめが、はじめに**結婚**うえせにやならんのだよ。」
ラバンは、こう答こたえました。「まあね、あと**七年**しちねんはたらい
てくれるのなら、ラケルともすぐに**結婚**けっこんできるよ。」
そこで、ヤコブはそうすることにしました。たぶん、
このときヤコブは思おもい出だしたでしょう。

まえに、

ちち あに
父イサクと**兄**エサウ
をだましたことをね。



いつのまにか、ヤコブは、

にん むすこ

もう11人もの**息子**たちがいました。

とし

年がすぎてゆくにつれ、

じぶん

ヤコブは**自分**のかぞくをつれて、

かえ

カナンへ**帰**りたくてたまらなくなりました。

とう

かあ

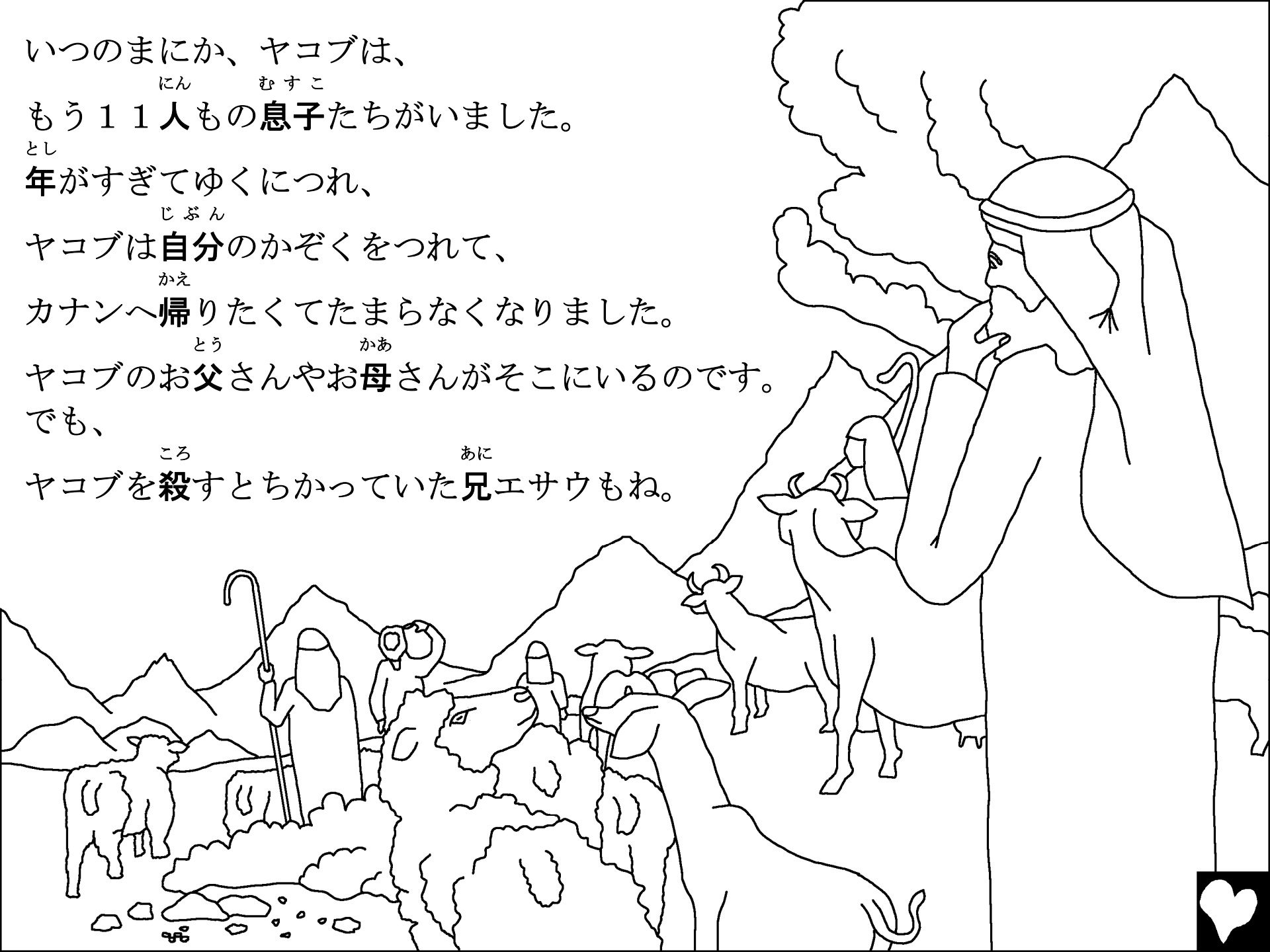
ヤコブのお**父**さんやお**母**さんがそこにいるのです。

でも、

ころ

あに

ヤコブを**殺**すとちかっていた**兄**エサウもね。



かえ
帰ってもだいじょうぶかな？ある日、

かみ
神さまは、ヤコブに言われました。

かえ
「帰りなさい。」そこで、ヤコブはすぐに、

じぶん
自分のかぞくやヒツジやヤギのむれをあつめ、

いえ
なつかしい家に向かっしゅっぱつて出発しました。



たび

それは、なんておおぜいの旅だったことでしょう。

よんひやくにん

ひと

そこへ、なんと四百人もの人たちをつれたエ

あ

サウがヤコブに会いにやってきましたよ。

けれどもエサウは、ヤコブをやっつけ

き

るために来たのではありません。エサウ

はし

だ

は、ヤコブのところに走りしっかりと抱

きしめたのです。いまや、ヤコブとエサ

きょうだい

ウは、すっかりなかよしの兄弟でした。

こうして、とうとうヤコ

ブは、



ぶじに

いえ

家までもどれたのでした。



だましたヤコブ

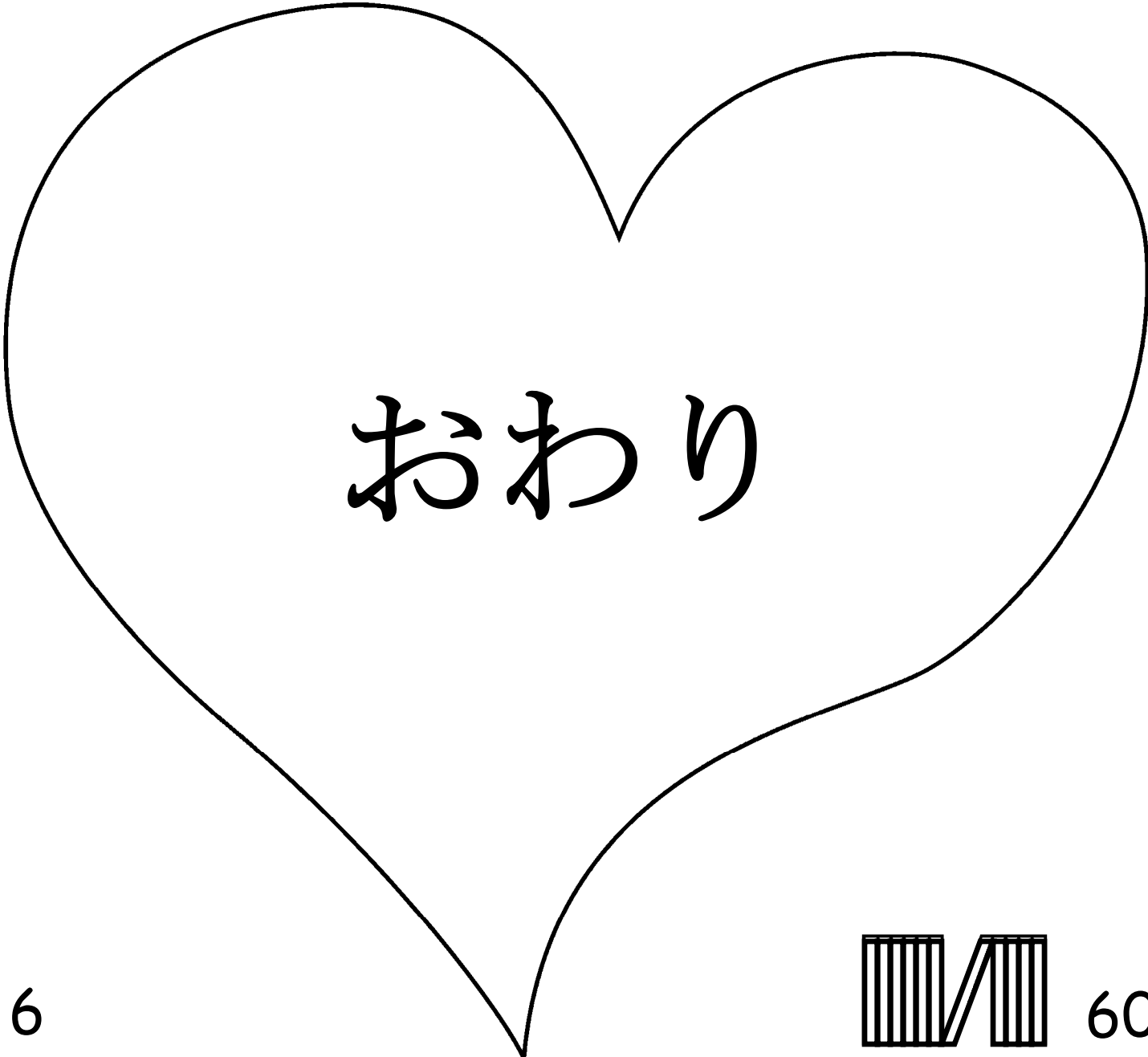
かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 25 章 - 33 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130





おわり



6



60



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいますとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくださいます。

あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなって
くださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてくださいます。それで、私は今、あたら
しい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにいるこ
とができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけて
くださいます。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましよう！ ヨハネによる福音書3：16

